

小・中学校における 租税教育指導事例集

令和4年3月

登米市租税教育推進協議会

発刊に寄せて

登米市租税教育推進協議会並びに租税教育推進協力者の皆様のご尽力をいただき、ここに「令和3年度租税教育指導事例集」が刊行されますことを心からお慶び申し上げます。

「納税」は「勤労」「教育」とならんで、国民の三大義務の一つです。収められた税金は「国民の健康で豊かな生活」を実現するために、国や地方公共団体が行う活動の財源となり、年金・医療などの社会保障・福祉や、私たちの生活を守る水道・道路等、社会インフラの整備、そして教育・警察など公的サービスを運営する費用に充てられます。このように国民が互いに助け合い、共によりよい社会を作っていくために必要な制度であることを、広く理解していくことはとても大切です。

ここ数年、こうした公的サービスのありがたさを実感する機会が増えました。それは新型コロナウイルス感染症拡大に伴う検査やワクチン接種、その他対策全般に使われる費用が税によって賄われているということです。もちろんコロナ対策だけではありませんが、税金のおかげで我々の生活が保障されていると実感しています。

このことから租税教育について学習し、興味をもち、見聞を深め、理解していくことは大事な取組と考えております。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、各種行事の実施が中止になる中、小学校22校、中学校2校で租税教室が開催され、税金についてのより専門的な学習が進められたことは、誠に有意義であり、その推進にあたっていただいた各校及び佐沼税務署のご努力に敬意を表します。

さらに本書では、授業での租税教育指導の進め方について、具体的な実践事例が紹介されています。いずれの学校でも児童生徒に「税」について分かりやすく理解させるため、工夫を凝らして取り組んでおり、今後の租税教育活動に大変参考になる内容となっています。各小・中学校におかれましては、ここに紹介されています租税教育実践事例を、今後ぜひ参考にさせていただきたいと思っております。

結びに、各小・中学校で租税教育の推進にご協力いただいた先生方のご努力とご支援、並びに本事例集の取りまとめに当たられました佐沼税務署の皆様のご尽力に心から感謝を申し上げ、発刊に際しての挨拶とさせていただきます。

令和4年3月

登米市租税教育推進協議会会長
登米市教育委員会教育長

小野寺 文晃

目 次

小学校指導事例（租税教育推進協力者名簿順）

- ① 第6学年 佐沼小学校 教諭 高橋幸恵 …………… 1
- ② 第6学年 米川小学校 教諭 三浦咲稀 …………… 2
- ③ 教務主任 加賀野小学校 主幹教諭 加藤英樹 …………… 3
- ④ 第6学年 豊里小学校 教諭 三浦幸恵 …………… 4
- ⑤ 第6学年 南方小学校 教諭 佐藤光史 …………… 5
- ⑥ 第6学年 東郷小学校 教諭 千葉崇峰 …………… 6

中学校指導事例（租税教育推進協力者名簿順）

- ① 社会科 東和中学校 教諭 佐藤文 …………… 7
- ② 社会科 南方中学校 教諭 吉田正一郎 …………… 8

令和3年度 租税教育推進協力者 …………… 9

令和3年度 登米市租税教育推進協議会 構成員名簿 …………… 10

歴代租税教育推進協力者 …………… 11

租税教育実践レポート

震災復旧・復興の取組から税金について考えよう

登米市立佐沼小学校教諭 6学年 高橋 幸恵

実施年月日：令和3年5月28日 137名

1 実践計画・指導のねらい

多くの児童が、「税金」「消費税」という言葉や、自分たちも買い物をする際に消費税を払っていること、その消費税が10%であることなどを知っていた。しかし、その目的や用途については漠然としか分からない児童が多かった。そのため、「自分が払うお金は少しでも少ない方がいい」「消費税はない方がいい」という声も聞かれた。単元全体を通して東日本大震災を取り上げ、災害復旧に向けた国や県、市の取組について学習する中で、税金の必要性に気付かせ、税金についての正しい知識を身に付けさせたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○), こどもたちの反応 (●), 使用教材等 (□)
1	【東日本大震災の発生】 ・東日本大震災の発生や被害の様子、復旧の様子を知り、まちの人々の願いを話し合っって学習課題をつくる。	○ 被災した人々ほどの願いを持っていたでしょう。 ● 生活できる場所がほしい。水道や電気を復旧してほしい。 ● まちやくらしを元通りにしてほしい。 □ 使用教材名 「東日本大震災の記録」宮城県登米市
2	【東日本大震災への緊急対応】 ・東日本大震災発生直後の市や県、国の取組について資料から読み取り、相互に協力していることを理解する。	○ 地震発生直後の市や県、国の動きを調べましょう。 ● 市は災害対策本部を設けて、避難所を開設したり、被害状況を確認したりしている。 ● 宮城県や国は、被災地に自衛隊を派遣したり、必要な物資を送ったりするために動いている。
3	【復旧・復興に向けた国の支援】 ・復旧や復興の取組と国の政治の働きの関係を理解する。	○ 復旧や復興に向けて国が行った取組を調べましょう。 ● 復旧を進めるために第一次補正予算を成立させた。 ● 東日本大震災復興基本法や復興庁も設けられた。
4	【税金の働き】 ・市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて理解する。	○ 復旧や復興のための費用はどこから出ているのでしょうか。 ● 募金だけでは足りない。国のお金。税金を使っている。 □ 使用教材名 副教材「わたしたちのくらしと税金」
5	【租税教室】 ・税金と自分たちの生活との関わりを知り、税金の重要性について理解する。	○ 自分たちの生活と税金との関わりについて考えましょう。 ● 税金がなくなると安心して安全な生活が送れなくなる。 □ 使用教材名 税のDVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」
6	【復興を願う市・市民の取組】 ・復興に向けて気仙沼市や市民が行った取組について調べ、市民の思いを知る。	○ 気仙沼市は復興に向けてどのような取組をしたか調べましょう。 ● 気仙沼市震災復興計画をつくって、住宅や道路、橋の整備、魚市場の建設などをした。 ● 新しいまちづくりにも税金が使われている。
7	【これからのまちづくり】 ・気仙沼市の現在の課題を捉え、どのような取組が行われているかを知って、これからのまちづくりについて考える。	○ 気仙沼市の現在のまちの課題は何でしょう。 ● 震災前よりも人口が減っている。気仙沼市移住・定住支援センターを作るなどして、魅力あるまちづくりを進めている。 □ 使用教材名 NHK for school「社会にドキリ」

【指導のポイント】≪1時間目≫

「東日本大震災の記録」を活用して登米市での被害状況や震災直後の生活の様子も示し、被災した人々の願いを考えさせた。

【指導のポイント】≪3時間目≫

気仙沼市の様子を定点カメラで撮影した画像を提示し、がれきが撤去され、道路ができ、建物が作られ、町が少しずつ変化していく様子を確認させた。児童は、復旧・復興を具体的な変化として捉えることができ、実現には多額の費用が掛かることに気付いていた。また、その費用がどこから出ているのかということに興味・関心を持つことにつながった。

【指導のポイント】≪4時間目≫

教科書や資料集、副教材を使って、税金の集められ方や使われ方について調べさせた。

【指導のポイント】≪5時間目≫

税務署の方をゲストティーチャーとして迎え、税金の基礎知識についての講話をいただいた。1億円のレプリカをお借りし、金額の大きさを実感させた。税金がなくなるとどのような社会になるのかが分かるDVDを視聴し、税金の必要性に気付かせた。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 東日本大震災の登米市での被害にも触れたことで、震災からの復旧・復興の過程を自分事として捉え、興味・関心を持って調べていた。
- ◎ 租税教室で税務署の方の話を聞いたり、DVDを視聴したりしたことで、税金がなくなると自分たちの生活がどうなるのかを考え、安心・安全な生活のために税金が不可欠であることに気付いた児童が多かった。
- ◆ 児童にとっては、消費税以外の税については実感を持ちにくいので、「どのようなことでどのぐらいの税を納めるのか」の例示ができると捉えやすくなる。

租税教育実践レポート

わたしたちの暮らしと税

登米市立米川小学校教諭 6学年 三浦 咲稀
 実施年月日：令和3年5月26日 11名

1 実践計画・指導のねらい

学習前の実態調査からは、「税金」という言葉は全員が知っており、税金と言ったら「消費税」を想像する児童がほとんどであった。その一方で、消費税以外の税金について知っている児童は3名という結果であり、身近な消費税以外の税金についての理解は不十分であることが分かった。また税金を「だれが、どこに、何のために」納めているのかについての理解も不十分であった。そこで本単元では、児童に税金の目的や必要性について理解させると共に、税金の使い道を決めるのは選挙で選ばれた国会議員であることを伝え、選挙に参加することの大切さを理解させる。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○), 子供たちの反応 (●), 使用教材等 (□)	【指導のポイント】
1	・国会の働きについて調べる。	○ <u>国会の働きについて調べて、まとめましょう。</u> ● 国会には衆議院と参議院がある。 ● 税金の使い道も話し合われている。 ● 多数決で決めている。 □ 新しい社会6 政治・国際編 P24, 25	【指導のポイント】<1時間目> 4月に学習した「国民主権」について触れ、国会議員と国民主権、選挙の関連について取り上げた。
2	・選挙のしくみや税金の働きについて知る。 ・消費税の増税について二人の政治家の意見を聞いて考えたことについて意見交流をする。	○ <u>税金について知っていることはありますか。</u> ● 消費税がある。 ● 教科書はただかと思っていた。 ● 税金の使い道が分かったぞ。 ○ <u>あなたならどの政党を選ぶか、考えて話し合ってみよう。</u> ● お年寄りのことを考えて増税するのはしかたないと思う。 ● 買い物するときに値段が上がるのは嫌だな。 □ 新しい社会6 政治・国際編 P26, 27	【指導のポイント】<2時間目> 自分だったら、消費税を「増税する政党」と「増税しない政党」のどちらに投票するかを、ディベート形式で話し合わせた。
3	・税務署よりゲストティーチャーをお招きして租税教室を実施する。	○ <u>税金は誰が納めていて、どんな種類があるのだろうか。</u> ● 国民全員が納めている。 ● 消費税しか分からないな・・・。 ● 働いている人が払うものもあったはず。 ○ <u>税金がなくなったらどうなるか考えよう。</u> ● 道路を歩いたりするだけでもお金がかかるのか。 ● 交番に相談するのにもお金がかかるなんて大変だ。 □ DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」	【指導のポイント】<3時間目> 税務署よりゲストティーチャーをお招きし、税金の仕組みや種類、使い道など税の基礎知識を教えてくださいました。またアニメ「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴したことで、税金の必要性に気付くことができました。
4	・「令和3年度税に関する絵はがきコンクール」に応募する。	○ <u>税に関する絵はがきを描こう。</u> ● 税金で作られた施設や物を描いてみよう。 ● どんな言葉を入れようかな。	【指導のポイント】<4時間目> 前時までの学習を振り返らせ、税金に対する思いをキャッチコピーにして、はがきの中に表すようにしました。



3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

- ◎ 税務署のゲストティーチャーの方の資料や説明がとても詳しく、分かりやすかったため、身近な生活と税金の関わりを理解することができた。
- ◎ 国民から集められた税金がどのようにして国民の生活に生かされているのかを知ることで、選挙と税金の繋がりを理解することができた。
- ◎ 租税教室（5月）と絵はがきコンクール（7月）、教科書での学習の時期が同じであったため、租税教室と教科書での学習内容を結び付けて、絵はがきコンクールに応募することができた。
- ◎ 振り返りの感想の中には「税金が使われた教科書を大切に使おうと思う」「税金は必要ないと思っていたが、今回の学習を通して税金の大切さが分かった」といった内容が見られ、税金の必要性を理解することができた。
- ◆ 消費税以外の税金について、それぞれの種類を深く学習する場面を設けることができなかった。家の人が納めている税金についてのインタビューをする活動などを行えばよかった。

租税教育実践レポート

わたしたちの暮らしと税金の関わり

登米市立加賀野小学校主幹教諭 教務主任 加藤 英樹

登米市立加賀野小学校教諭 6学年 青山 美佳

実施年月日：令和3年6月18日 23名

1 実践計画・指導のねらい

税金という言葉はほとんどの児童が知っており、消費税もなじみ深いものであるが、他にどんな税金があり、集められた税金がどのような使われ方をしているか意識している児童は少ない。そこで本単元では、ゲストティーチャーを招いての「租税教室」や、タブレット端末を使った調べ学習などを通し、税金の役割とその大切さ、自分たちの暮らしとの関わりについて、児童一人一人に考えさせたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	<ul style="list-style-type: none"> 税金について知っていることを話し合う。 税金はなぜ必要なのか話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ふるさと納税について知っていますか。 ● 好きなどころに税金を納められる。 ● お礼がもらえる。 ○ 税金はどうして納めなければならないのでしょうか。 ● 学校を建てるのに使われているから。 ● 学校のタブレットなども買ってもらえなくなるから。 □ 教科書、資料「登米市の予算とまちづくり」
2	「租税教室」 <ul style="list-style-type: none"> 佐沼税務署の方から税金についての詳しいお話を聞き、税金の役割や自分たちの生活との関わりについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税金が使われている施設はどれですか。 ● 学校は使われていると思う。 ● 児童館も使われているのかな。 ○ 税金がないとわたしたちの暮らしはどうなるでしょうか。 ● 火事になっても助けが来ない。 ● 学校で勉強するのにお金がかかる。 □ DVD 「マリンとヤマト不思議な日曜日」 
3	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習で分かったことを確認する。 税金にはどんな種類があり、どのような使われ方をしているかを調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税金にはどのようなものがあるのでしょうか。 ● 消費税。 ● 住民税や自動車税というものもある。 ○ 税金はどのような使い方をされているのでしょうか。 ● わたしたちの暮らしの安全を守るために、警察や消防署に使われている。 ● 教科書や学校で使うものにも使われている。 □ 資料「登米市の予算とまちづくり」「わたしたちの暮らしと税」
4	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを発表する。 税金はなぜ大切なのか、学習のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税金はなぜ大切なのでしょうか。 ● わたしたちの暮らしを守るために欠かせないものだから。 ● 大切なものだから、国民の義務として憲法にも定められている。 □ 資料「わたしたちの暮らしと税」
事後	<ul style="list-style-type: none"> 学んだことを想起しながら、税に関する標語、税に関する絵はがきの作成に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税金の大切さを伝えるためには、どんな言葉や絵を入れて作ったらよいでしょうか。 ● 標語「税金は みんなの暮らし 支えている」 ● 標語「税金で みんなの笑顔 守ろうよ」

【指導のポイント】<<1時間目>>

実際にはふるさと納税は税金ではなく「寄附」であるが、登米市の返礼品となっている木工品の実物を見せたことで学習意欲を高めることができた。

【指導のポイント】<<2時間目>>

DVDを視聴させたことで、もし税金がなくなったら自分たちの暮らしがどうなるかを具体的にイメージさせることができた。

【指導のポイント】<<3時間目>>

資料の他にも、タブレット端末を使って税について調べさせ、ノートにまとめさせた。

【指導のポイント】<<4時間目>>

それぞれの発表を聞き合うことで税についての理解がより深まった。

【指導のポイント】<<事後>>

3時間目で調べたことをまとめたノートを、標語や絵はがきの作成のために活用することができた。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

- ◎ 租税教室を開いたことで、税金がどのように使われているか分かりやすく教えてもらうことができ、税金の大切さについて理解が深まった。
- ◎ 標語や絵はがき作りに全員で取り組んだことで、児童は学んだことの要点を短い言葉で表現しようと思っていた。
- ◆ 社会科の政治の学習に合わせて第1・2時を行ったが、その後行事等の関係で第3・4時の実践との間が空いてしまった。継続して行えるように指導計画を立てる必要がある。
- ◆ タブレット端末での調べ学習は有効であったが、現在は「ロイロノート」というアプリが使えるので、グループでの協働学習やプレゼンでの発表に活用していくとさらに充実した学習になると思われる。

租税教育実践レポート

わたしたちの生活と税金

登米市立豊里小学校教諭 6学年 三浦 幸恵

実施年月日：令和3年6月24日 26名

1 実践計画・指導のねらい

多くの児童は、消費税については知っているが、その他の税金の種類についてはほとんど知らない。また、税金がどのように使われているのかわからないで生活している児童が多い。本実践では、社会科の学習やゲストティーチャーを招いての租税教室を通して、税金は、自分たちが豊かな生活を送るために使われており、そのために国民が納めているものであることを理解させていきたい。また、税に関する絵はがきや標語作りにおいて、学習したことを自分の言葉や絵で表現することで、より理解を深めていきたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、子どもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・税金の働きについて調べ、公共のサービスや施設にかかる費用の多くは、税金でまかなわれていることを知る。	○ <u>税金について知っていることはありますか。</u> ● 買い物のとき消費税を払っている。 ● たばこ税も聞いたことがある。 □使用教材 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」
2	・災害復旧・復興に向けた国の取り組みを調べ、それにかかる費用は税金が使われていることを知る。	○ <u>復旧や復興のために必要なお金はどこから出るのでしょうか。</u> ● たくさんのお金が必要になるけど・・・ ● 税金 □ 使用教材名 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」
3	・税金の種類や使われ方、税金の必要性について知る。（登米法人会からゲストティーチャーを招き「租税教室」を実施）	○ <u>税金が使われているものと使われていないものに分けよう。</u> ● 学校、公民館、消防署、警察署・・・は税金が使われている。 ○ <u>税金がなくなるとどうなるのだろうか。</u> ● 消防車や救急車を呼べなくなる。 ● ゴミを集めてもらえない。 □ 使用教材名 税のビデオ（マリンとヤマト 不思議な日曜日） 
4	・税金について学んだことを絵はがきに表そう。「税に関する絵はがきコンクール」に応募する。	○ <u>税金の大切さを伝える絵はがきをかこう。</u> □ 使用教材名 まんが「おじいさんの赤いつぼ」 
5	・税金について学んだり考えたりしたことを標語に表そう。「税に関する標語」に応募する。	○ <u>税金の大切を伝える標語を考えよう。</u> ● 「君が今 はらう税で かなう夢」 「税金で 明日を支える 豊かな未来」

【指導のポイント】≪1時間目≫

身近なところにたくさん税金が関わっているということに気付くことができた。

【指導のポイント】≪2時間目≫

東日本大震災の復旧作業の映像を見せることで、税金の大切さや必要性について考えることができた。

【指導のポイント】≪3時間目≫

ゲストティーチャーからのクイズに答えたり、DVDを視聴することで、税金は自分たちの生活を支える大事な物であるということを再確認することができた。

【指導のポイント】≪4・5時間目≫

今まで税金について学習したことや考えたことを基にして絵や標語に表すことで、税金についてより理解を深めることができた。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）

- ◎ 「教科書での学習」「租税教室」「税に関する各種コンクールに参加」と長期に渡って税について知ったり考えたりする機会があり、児童は復習しながら知識を広げたり深めたりすることができた。
- ◎ 租税教室では、クイズを行いながら児童に分かりやすく税金の役割や大切さを学ばせていただき、児童は楽しみながら意欲的に学んでおり、有意義な時間となった。
- ◆ 税金の種類など用語が難しいものもあり、児童によっては理解しにくい部分がある。児童に分かりやすく説明するために教師側の工夫が必要だと感じた。

租税教育実践レポート

私たちの願いを実現する政治—税金の働きを調べる—

登米市立南方小学校教諭 6学年 佐藤 光史

実施年月日：令和3年6月16日 33名

1 実践計画・指導のねらい

市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて、資料を活用して、必要な情報を集めて考えさせる。公共施設の建設や運営にお金がかかっているにもかかわらず、利用料金が無料になっていることに着目し、その理由を考えていく中で、税金の種類や納付先、使われ方の理解を深めさせる。

具体的な金額を意識しながら学習を進めることで、より現実的な学習としてとらえさせる。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・前時の学習を振り返る。	○ あすばる（児童センター）ができるまでのプロセスや、その中で市議会が果たした役割について確認しましょう。
2	・本時の課題を確認する。	○ あすばるの利用料金が無料なのはなぜだろう。
3	・課題解決のための情報を集める。	○ あすばるにかかわるお金の額を調べよう。 <支出> ・建設費用 1億4,000万円 ・維持・運営費 2,000万円 合計 1億6,000万円 <収入> ・利用料金 無料 ○ 足りない費用はどこから出ているのでしょうか。 ● 税金、市が払っている。 □ 教科書
4	・本時の課題に迫る。	○ あすばるの利用料金が無料なのはなぜだろう。 ● 市内に住んでいる人が払った税金が使われているので、利用料金を払っているのと同じだから。
5	・税金の種類を調べる。	○ 税金はどのように集められ、使われているか調べよう。 ● 以下、生徒から発表された意見 <種類> ものを買ったとき（消費税）、市町村に住んでいる人（住民税）、収入の中から（所得税）、土地や建物に対して（固定資産税） <目的> 救急、消防、警察、教育、保健、福祉、衛生、土木 ⇒公共的な事業
6	・身近な税について知る。	○ みなさんにはどれだけの税金が使われているか計算してみよう。 小学生1人 1年間 885,000円 6年間 5,310,000円 ○ 学級33人で6年間に1億7千万円以上使われてきたことになります。 □ くらしと税金
7	・次時の課題を知る。	○ 国の政治と地方公共団体の政治、私たちの生活や願いはどのように関わっているのだろうか。

【指導のポイント】<2時間目>

あすばるの建設と運営に係る費用を確認させる。

【指導のポイント】<3時間目>

あすばるの建設と運営に係る費用を確認した上で、利用料金が無料であることに着目し、税金の働きを考える視点とする。教科書を使って、建設や維持・運営にかかる費用を調べるよう指示する。前時までの学習を通して、あすばるを利用する場合に、自分なら対価としていくら支払うのが妥当か考えさせる。仮に200円だとして、維持・運営費だけでも利用料金がまかなうためには年間10万人の利用が必要であることを確かめさせる。

【指導のポイント】<4時間目>

これまで集めた情報を基に推論してノートに自分の考えをまとめ、それを基にグループで学び合いをさせる。最終的にはグループで一つの考えにまとめさせる。用語「税金」と、公共的な役割に活用されるという目的を確認させる。

【指導のポイント】<5時間目>

教科書や資料集、「くらしと税金」を活用して税金の種類と集められ方使われ方を調べるよう指示する。消費税という形で、子供でも（間接的に）納税していることを確かめる。公共的な事業に使われるという税金の機能や納税の義務があることにも触れる。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

◎「自分にどれだけの税金が使われているか」とは、児童にとっては思いもよらないことだったのではないだろうか。具体的な金額に触れて考えることで、税金がより身近なものとして意識できたと思う。資料「くらしと税金」の内容が効果的だった。

◆児童は、前時までの学習や予備知識から、税（お金）があることと公共の事業に使われていることはある程度知っているが、多様な種類や目的があることまでは知らない。「もし税金がなかったら」と逆説的にシミュレーションしてみても効果的だったのではないだろうか。

租税教育実践レポート

わたしたちの生活と税金の働き

登米市立東郷小学校教諭 6学年 千葉 崇峰

実施年月日：令和3年6月23日 28名

1 実践計画・指導のねらい

児童にとって、消費税などの一部を除き、税金を身近なものと感じる機会は少ない。大切だと聞いたことはあっても、具体的なことについては、ほとんど理解していないのが実態である。そこで本実践では、税金と身近な物事とを関連付けながら扱うことによって、実感を伴って理解させる。

2 単元構成・実際の指導状況

時間	学習内容	主な発問 (○), 子供たちの反応 (●), 使用教材等 (□)
1	国の政治の仕組みと選挙 ・ 政治と選挙の仕組みについて知る。また、税金が予算に基づいて使われていることを理解する。	○ 国会の働きについて調べましょう。 ● 国の法律や予算を決める役割がある。 ● 国民は選挙で代表を選ぶことで政治に参加している。選ばれた議員は予算の内容を決める役割も担っている。
2	震災復興の願いを実現する政治 ・ 震災後の行政の取り組みについて知り、人々の生活を守り、町作りを進めるために税金が使われていることを理解する。	○ 震災後の国や県、市町村の取り組みについて調べましょう。 ● 災害対策本部が設置された。 ● 復興計画が立てられた。 ● 仮設住宅の建設やライフラインの復旧が進められた。 ● 補正予算によって、復興のために税金が使われることとなった。
3	租税教室 ・ 登米法人会からゲストティーチャーを招き、税金についての詳しい内容について、話を聞いたり、質問したりする。	○ 税金が使われている施設はどこでしょう。 ● 学校、公園、公民館、交番、消防署・・・ ● 公共施設には税金が使われている。 ○ 税金がなかったら、どんな暮らしになるのでしょうか。 ● 学校に通えない。救急車を呼べない。困ることが多い。 ● 貧しい人は暮らせなくなる。 ● わたしたちの暮らしは税金によって支えられている。
4	総合的な学習の時間 登米市の宝物をさがそう ・ 「みやぎの明治村」や「登米市歴史博物館」を訪問し、地域の歴史や魅力を守り、伝えることにも税金が使われていることを知る。	○ なぜこのような場所があるのか調べましょう。 ● 自分のふるさとの歴史を守り、受け継ぐため。 ● 自分のふるさとの魅力を、他の地域に発信するため。 ○ どうやって維持されているのか考えてみましょう。 ● ふるさとの良さを受け継ごうという思いを持った人々が、大切にしている。 ● 地域の人々にとって大事な場所だから、税金を使って維持している。
5	税金と自分達との関わりを整理しよう ・ これまでの学習を振り返り、税金についての自分の捉えを絵や標語で表現する。	○ 「税金」がどんなものだと分かったか、自分なりに表現してみよう。 ● 「税に関する絵はがきコンクール」、「税に関する標語コンクール」に応募。 標語コンクール：優秀賞1名、佳作2名

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

◎ 税金について理解させることができた。学習以降の様々な場面で、児童から税金との関連を意識した発言が出るようになった。◎ 税と自分の暮らしを関連付けたことで、納税することや、政治への参加意識の大切さについて関心を持たせることができた。

租税教育実践レポート

私たちの生活と税金の関わり

登米市立東和中学校教諭 3学年 佐藤 文

実施年月日：令和4年1月31日 32名

1 実践計画・指導のねらい

「財政と国民の福祉」では、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解させる。また、国民の生活と政府の役割について多面的・多角的に考察し、表現できるようにすることを目的としている。授業を通して少子高齢化社会など現代の課題を踏まえ、自分の生活との関わりに気付かせ、担税者としての自覚を持てるように指導していきたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、こどもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
事前学習	・租税教室	○ <u>税金について知ろう。</u> ● 税金のしくみや使い道などの現状や国税査察官の仕事を描いたドラマを視聴し税についての現状や詳細な内容を学んだ。 ● 1億円分の紙幣レプリカを実際に持ってみる体験をし、重さなどを実感した。 □ 資料（県税務署より）DVD 1億円のケース
	・税の作文を書いてみよう。	○ <u>税について知っていることを話そう。</u> ● 消費税が引き上がった。教科書の無償配布。 ○ <u>どのようなことに使われているのだろう。</u> ● 学校生活を支えている。道路工事、年金、公務員の給与。 □ 副教材「わたしたちの暮らしと税金」
1	私たちの生活と財政 ・財政の仕組み ・さまざまな税金 ・税金の公正性	○ <u>どのように税金は分類されるのか</u> ● 直接税・間接税・国税・地方税 ○ <u>所得税の課税方法について「公正」の観点から考えよう。</u> ①全員が同じ金額を納める。 ②全員が同じ税率で納める。 ③累進課税の方法 ● 所得や財産に対して税率をあげないと生活が苦しくなってしまう。 □ 教科書 副教材「わたしたちの暮らしと税金」
2	財政の役割と課題 ・市場経済と政府 ・財政政策 ・公債の発行 ・これからの財政	○ <u>日本の財政について考えよう。</u> ● 国債の増加が課題になっている。 ○ <u>公債の発行のあり方について考えよう。</u> ● 社会保障などを支えるためには仕方がない。 ● 次の世代に借金を残すのはよくはない。 □ 教科書 資料集
3	社会保障の仕組み ・社会保障の役割とおこり ・日本の社会保障の四つの柱	○ <u>日本の社会保障制度はどのような仕組みなのか。</u> ● 社会保険・公的扶助・社会福祉・公衆衛生の分野で細やかに支えられている。 ● 持続可能な社会制度が必要。 □ 教科書 資料集
4	少子高齢化と財政	○ <u>今後の私たちの社会保障について考えよう。</u> ● 「高福祉高負担」の方が老後安心して生活が送れる。 ● 「低福祉低負担」自己責任で若者の負担を軽減する。 □ 教科書 資料集

【指導のポイント】《事前学習》

県税事務所の方々から分かりやすく税についての基礎知識を説明して頂いた。

【指導のポイント】《事前学習》

「税の作文」を夏休みの課題とした。租税教室の内容や頂いた資料や「私たちの暮らしと税金」等をもとに自分たちの身の回りで役立っていることを踏まえて、税金に関する作文の題材を考えさせた。

【指導のポイント】《1時間目》

身近な税金である消費税を話題に取り上げた。また、所得税の累進課税について考えさせる。

【指導のポイント】《2時間目》

公債の発行を続けなければならない理由とデメリットをそれぞれ考えさせ、自分の生活に影響することに気付かせる。

【指導のポイント】《3時間目》

社会保障が生まれた背景を歴史の既習学習で振り返らせ、国民生活を安心して過ごすためには社会保障の四つの柱が大切なことを抑える。

【指導のポイント】《4時間目》

税の必要性や財政の課題について確認したうえで、社会保障のあり方について自分考えをまとめさせた。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

◎ 租税教室と「税の作文」を書くまでの期間が短かったので、講話の内容などが作文に反映されている生徒が多かった。

◎ 身近なところに税金が使われていることや具体的な使い道を知ることで、私たちの生活に税金が密着している大切なものであることに気づくことができていた。

◆ 消費税以外の税は、生徒にとってあまりなじみがなく理解が難しいところもあった。生徒の興味・関心を引き出す手立てとして新聞や広報なども活用しより良い資料を提示していきたい。

租税教育実践レポート

身近な税金とその使い道

登米市立南方中学校教諭 3学年 吉田 正一郎

実施年月日：令和4年1月18日 71名

1 実践計画・指導のねらい

本単元「政府の役割と国民の福祉」では、福祉の向上のために国や地方公共団体が果たす役割について、財政や租税の意義、国民の納税の義務などについて考え、経済についての見方や考え方の基礎を養うことを主なねらいとしている。国民が納めた税が国や地域を支えるために生かされるものであることを、身近な事例を取り上げながら気づかせ、主権者として将来、自らが主体的に果たしていくべき役割を自覚させたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○), こどもたちの反応 (●), 使用教材等 (□)
事前学習	税の作文 (選択課題) 事前指導	○ <u>税について調べてみよう。</u> ● 私たちの生活に役立っており、ないと困るもの。 ● 税にはさまざまな種類がある。 □ 副教材「国税庁 税の学習コーナー」
関連単元	<3節：地方自治と私たち> 地方公共団体の課題 ・地方財政の仕組み ・地方財政の健全化 ・人口減少と地方創生	○ <u>地方公共団体にはどのような課題があるのだろうか。</u> ● 自主財源である地方税の割合が思ったより低い。 ○ 地方創生のために登米市の良さをもっとアピールするべき。 □ 「令和3年度 登米市の予算とまちづくり」 「宮城県 暮らしと県税」
1	<4節：財政と国民の福祉> 私たちの生活と財政 ・財政の仕組み ・さまざまな税金 ・税金の公平性	○ <u>私たちが納める税金はどのように使われているのだろうか。</u> ● 日本は、予算に占める社会保障費の割合が高い。 ● 学校や道路、警察や消防など身近なところに税が使われている。 ○ 憲法に「納税の義務」があるのはなぜだろう。 ● 国民が納める税が国を支えている。助け合いの精神。 □ 「令和3年度版国税庁租税教育教材スライド」 「1億円レプリカ」(左沼税務署より借用)
2	財政の役割と課題 ・市場経済と政府 ・財政政策	○ <u>財政の果たす役割と課題について考えよう。</u> ○ 社会資本や公共サービスを政府が担っているのはなぜか。 ● 利潤が得られないことを民間企業が担うのは困難。 ● 政府が税を活用して社会資本の整備や公共サービスを行う。 □ 「財務省 日本の財務関係資料」
3	社会保障の仕組み ・社会保障の役割 ・日本の社会保障の四つの柱	○ <u>保険証ってなんだろう。</u> ● 保険証がないと、実はそんなにお金がかかっているのか。 □ 社会科資料集
4	少子高齢化と財政 ・少子高齢化と社会保障 ・福祉社会の実現に向けて	○ <u>これからの日本の社会保障はどうあるべきなのだろうか。</u> ○ 少子高齢化の中で、どのように社会保障を維持していったらよいか。 ● 社会保障の水準を維持するためには、負担増も仕方ないのでは。 ● 負担が増えすぎるのなら、社会保障を絞り込むのもやむを得ない。 □ 「財務省 これからの日本のために財政を考える」

【指導のポイント】<1時間目>

国税庁の資料を使い、税についての基礎的な内容を調べる時間とした。夏休みの課題として各自が学習を進めた。

【指導のポイント】<2時間目>

資料の読み取りから、県や市の歳入に依存財源が多いことに気づいた。「おかえりモネ」の効果で登米市へのふるさと納税が増えたことも紹介した。

【指導のポイント】<3時間目>

既習事項と関連させ、納めた税がどのように使われているか考えさせた。1億円レプリカを実際に触らせることで、税への関心を高めることができ、スライドで分かりやすく税について学ぶことができた。

【指導のポイント】<4時間目>

私たちの身の回りでの税の活用場面を探し、社会資本整備や公共サービスにおける税の大切さを考えさせた。

【指導のポイント】<5時間目>

国民皆保険・国民皆年金の制度には、税の負担が大切であることを説明した。

【指導のポイント】<6時間目>

これからの社会保障の在り方を考えさせ、理由も含めて記述させた。税や保険料の負担は増えるが、現在の社会保障の水準は維持すべきという生徒が多かった。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 社会科の夏休み選択課題として、3年生が「税の作文」に取り組んでいる。資料を配付して事前指導を行い、自分で資料にアクセスして学習することで、税に対する興味や疑問などの課題を解決する機会になっている。
- ◎ 今回、初めて1億円のレプリカを左沼税務署から借用して活用した。実際の重さを体験することで生徒の興味を喚起し、授業の雰囲気作りにもなった。
- ◎ 既習事項である国や都道府県、市町村の役割と税の学習を関連させて学ぶことで、自分の身の回りのものやサービスの多くが税によって担われていると感じた生徒が多かった。憲法にある「納税の義務」についても、自分たちが日本の国を支えるためのものであるという意識をもたせることができた。
- ◎ 生徒たちは教育などの公共サービスや医療・社会保障、社会資本の整備などへの負担はすべきと考えており、その思いを裏切らないようにしたい。
- ◆ 単元の配列上、教科書で税について細かく学ぶのは1月頃である。夏に行う税の作文や租税教室の実施時期との関連を考えておく必要がある。

令和3年度 租税教育推進協力者

【小学校】

(順不同)

所 属	担 任・担 当	氏 名
佐 沼 小学校	6 学年	高 橋 幸 恵 教諭
米 川 小学校	6 学年	三 浦 咲 稀 教諭
加賀野 小学校	教務主任	加 藤 英 樹 主幹教諭
豊 里 小学校	6 学年	三 浦 幸 恵 教諭
南 方 小学校	6 学年	佐 藤 光 史 教諭
東 郷 小学校	6 学年	千 葉 崇 峰 教諭

【中学校】

(順不同)

所 属	担 任・担 当	氏 名
東 和 中学校	社会科	佐 藤 文 教諭
南 方 中学校	社会科	吉田 正一郎 教諭

令和3年度登米市租税教育推進協議会構成員名簿

所 属	職 名	氏 名
登米市教育委員会	教 育 長	小野寺 文 晃
宮城県東部教育事務所	所 長	佐々木 晃
登米市教育支援センター	所 長	佐 藤 智 哉
登米市小学校長会	会 長 (登米小学校長)	岩 渕 達 郎
登米市中学校長会	会 長 (佐沼中学校長)	鎌 田 鉄 朗
県北高等学校長会	登米地区代表 (佐沼高等学校長)	狩 野 秀 明
登米市生涯学習課	生涯学習課長	山 形 敦
登米市納税貯蓄組合連合会	会 長	及 川 圭 助
公益社団法人 登米法人会	会 長	工 藤 貞 夫
東北税理士会宮城県北支部会 佐 沼 部 会	部 会 長	佐々木 健 之
佐 沼 税 務 署	署 長	長 南 和 明
宮城県東部県税事務所 登米地域事務所	所 長	三 浦 保 徳
登 米 市	総務部次長兼 税 務 課 長	佐 藤 靖

《事務局》

佐 沼 税 務 署	総 務 課 長	泉 健 一
佐 沼 税 務 署	総 務 係 長	白 取 浩 紀

歴代租税教育推進協力者

昭和61年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
南方町	西郷小	2 学年	鈴木陽子 教諭
登米町	登米小	2 学年	長谷信一 教諭
米山町	善王寺小	3 学年	熊谷仁一 教諭
迫町	北方小	4 学年	豊原仁 教諭
南方町	南方小	6 学年	富士原啓子 教諭
迫町	佐沼小	6 学年	畠山信弘 教諭
石越町	石越中	社会科	菊田郁朗 教諭
東和町	東和中	社会科	小野寺達郎 教諭

昭和62年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
豊里町	豊里小	3 学年	今野文彦 教諭
米山町	中津山小	4 学年	伊東博敏 教諭
南方町	西郷小	4 学年	菅原満夫 教諭
登米町	登米小	5 学年	菅原純一 教諭
南方町	南方小	5 学年	成澤淑子 教諭
迫町	北方小	6 学年	中津川良子 教諭
登米町	登米中	社会科	鈴木幹雄 教諭
豊里町	豊里中	社会科	沼田芳孝 教諭

昭和63年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	1 学年	岩渕安弘 教諭
米山町	桜岡小	2 学年	海野達兄 教諭
登米町	登米小	3 学年	千葉直子 教諭
迫町	佐沼小	4 学年	飯塚豊 教諭
東和町	嵯峨立小	5 学年	佐藤教子 教諭
東和町	米谷小	6 学年	及川茂法 教諭
米山町	米山中	社会科	及川喬 教諭
南方町	南方中	社会科	佐藤徳明 教諭

平成元年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
中田町	石森小	2 学年	畠山蓉子 教諭
南方町	南方小	3 学年	小野寺篤 教諭
石越町	石越小	3 学年	石山順 教諭
迫町	新田第一小	5 学年	石合克行 教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野峻 教諭
東和町	米谷小	6 学年	桜井浩志 教諭
迫町	佐沼中	社会科	菊池信夫 教諭
中田町	中田中	社会科	吉野幸信 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成2年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	5 学年	菅原一子 教諭
中田町	石森小	6 学年	高橋節子 教諭
南方町	南方小	5 学年	小野寺 薫 教諭
石越町	石越小	1 学年	石山 順 教諭
迫町	北方小	4 学年	石合 克行 教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野 峻 教諭
迫町	新田中	社会科	千葉 忠徳 教諭
石越町	石越中	社会科	二階堂 和夫 教諭

平成3年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	3 学年	菅原一子 教諭
東和町	錦織小	4 学年	及川 晃史 教諭
東和町	米川小	5 学年	小野寺 夕へ子 教諭
中田町	石森小	5 学年	高橋 節子 教諭
中田町	浅水小	5 学年	末永 澄子 教諭
中田町	加賀野小	6 学年	佐藤 美恵 教諭
登米町	登米中	社会科	矢内 昭裕 教諭
東和町	東和中	社会科	小野寺 達郎 教諭

平成4年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	3 学年	大場 しの 教諭
迫町	新田第二小	4 学年	高橋 眞理 教諭
南方町	西郷小	6 学年	齋藤 裕之 教諭
中田町	浅水小	3 学年	末永 澄子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	熊坂 昭子 教諭
東和町	錦織小	6 学年	及川 晃史 教諭
豊里町	豊里中	社会科	畠山 俊彦 教諭
米山町	米山中	社会科	小野 敦史 教諭

平成5年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	5 学年	菊池 敏一 教諭
迫町	新田第二小	4 学年	高橋 眞理 教諭
豊里町	豊里小	6 学年	熊谷 昭子 教諭
中田町	宝江小	6 学年	須藤 勝子 教諭
米山町	善王寺小	4 学年	太田 弥 教諭
南方町	東郷小	5 学年	千葉 一彦 教諭
中田町	中田中	社会科	畠山 俊彦 教諭
南方町	南方中	社会科	佐々木 由美 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成6年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
南方町	東郷小	6 学年	千葉一彦 教諭
石越町	石越小	6 学年	高橋節子 教諭
中田町	桜場小	6 学年	菅原啓士 教諭
中田町	新井田小	6 学年	森田久 教諭
東和町	鱒淵小	5 学年	佐藤孝文 教諭
迫町	北方小	6 学年	高橋純 教諭
石越町	石越中	社会科	矢内昭裕 教諭
迫町	新田中	社会科	中津川英樹 教諭

平成7年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	6 学年	庄子裕 教諭
中田町	宝江小	6 学年	鈴木久美 教諭
東和町	嵯峨立小	6 学年	須藤勝子 教諭
登米町	登米小	5 学年	沼倉弘子 教諭
米山町	中津山小	5 学年	門田洋之 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	長南忠男 教諭
米山町	米山中	社会科	小野寺文晃 教諭
中田町	中田中	社会科	佐々木正生 教諭

平成8年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	6 学年	清和幸彦 教諭
登米町	登米小	6 学年	沼倉弘子 教諭
東和町	米谷小	6 学年	渋谷雄二郎 教諭
中田町	石森小	6 学年	高橋晋 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	鈴木有 教諭
米山町	中津山小	6 学年	門田洋之 教諭
石越町	石越小	T T	佐藤浩子 教諭
南方町	西郷小	5 学年	小野寺夕へ子 教諭
迫町	佐沼中	社会科	大場正浩 教諭
豊里町	豊里中	社会科	渡邊淳一 教諭

平成9年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	4 学年	清和幸彦 教諭
登米町	登米小	6 学年	寺川雅洋 教諭
東和町	錦織小	6 学年	石川克行 教諭
中田町	上沼中央小	6 学年	皆川寛 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	長南忠男 教諭
米山町	中津山小	6 学年	後藤俊朗 教諭
石越町	石越小	6 学年	高橋敏子 教諭
南方町	西郷小	5 学年	佐藤和枝 教諭
東和町	東和中	社会科	佐々木正生 教諭
南方町	南方中	社会科	藤浦悟 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成10年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	6 学年	菅原博 教諭
登米町	登米小	6 学年	佐々木勝江 教諭
東和町	嵯峨立小	6 学年	高橋秀憲 教諭
中田町	上沼小	5 学年	鈴木典幸 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	水沼勝 教諭
米山町	桜岡小	6 学年	菅原善彦 教諭
石越町	石越小	5 学年	熱海宏明 教諭
南方町	南方小	6 学年	佐藤秀明 教諭
登米町	講師	社会科	三浦秀治 教諭
石越町	石越中	社会科	山家英樹 教諭

平成11年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	3 学年	菅原博 教諭
登米町	登米小	6 学年	萩田志保子 教諭
東和町	米谷小	5 学年	鈴木真理 教諭
中田町	浅水小	5 学年	佐藤教子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	兵藤清美 教諭
米山町	中津山小	6 学年	佐藤勉 教諭
石越町	石越小	5 学年	桜井ひろみ 教諭
南方町	東郷小	5 学年	熊谷俊子 教諭
迫町	新田中	社会科	中津川英樹 教諭
米山町	米山中	社会科	石田康之 教諭

平成12年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	T T	岩渕安弘 教諭
登米町	登米小	6 学年	熱海宏明 教諭
東和町	錦織小	5 学年	菅原善彦 教諭
中田町	桜場小	5 学年	佐藤美紀子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	後藤智子 教諭
米山町	米岡小	5 学年	秀由佳 教諭
石越町	石越小	5 学年	野里恵二 教諭
南方町	西郷小	5 学年	笹原明美 教諭
迫町	佐沼中	社会科	大場正浩 教諭
中田町	中田中	社会科	箱石雄悟 教諭

平成13年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	4 学年	金野ゆかり 教諭
登米町	登米小	6 学年	飯塚市代 教諭
東和町	鱒淵小	6 学年	中井充夫 教諭
中田町	石森小	5 学年	岩渕公一 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	矢野美智代 教諭
米山町	善王寺小	5 学年	遠藤聡子 教諭
石越町	石越小	5 学年	佐藤眞紀 教諭
南方町	南方小	6 学年	石井大志 教諭
東和町	東和中	社会科	高橋和芳 教諭
豊里町	豊里中	社会科	矢内昭裕 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成14年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	6学年	千葉 ゆかり 教諭
登米町	登米小	6学年	後藤 俊朗 教諭
東和町	米川小	5学年	佐藤 建雄 教諭
中田町	加賀野小	5学年	渡邊 宏紀 教諭
豊里町	豊里小	5学年	伊藤 悦子 教諭
米山町	桜岡小	6学年	蓬田 昭彦 教諭
石越町	石越小	5学年	庄司 紀子 教諭
南方町	東郷小	5学年	千葉 裕子 教諭
南方町	講師	社会科	小野寺 彰哉 教諭
登米町	登米中	社会科	藤浦 悟 教諭

平成15年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	5学年	門田 りえ 教諭
登米町	登米小	5学年	三浦 教順 教諭
東和町	嵯峨立小	5学年	加瀬谷 武敏 教諭
中田町	新井田小	6学年	高橋 広満 教諭
豊里町	豊里小	5学年	千葉 浩幸 教諭
米山町	中津山小	5学年	村上 喜久美 教諭
石越町	石越小	5学年	山口 沙織 教諭
南方町	西郷小	5学年	遠藤 恵 教諭
迫町	新田中	社会科	山家 英樹 教諭
石越町	石越中	社会科	中津川 英樹 教諭

平成16年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	6学年	佐藤 浩人 教諭
登米町	登米小	5学年	佐藤 裕 教諭
東和町	米谷小	6学年	佐藤 康 教諭
中田町	宝江小	6学年	佐藤 祥子 教諭
豊里町	豊里小	5学年	佐藤 裕志 教諭
米山町	米岡小	6学年	阿部 孝紀 教諭
石越町	石越小	5学年	高橋 美至 教諭
南方町	南方小	5学年	佐々木 和枝 教諭
米山町	米山中	社会科	箱石 雄悟 教諭
中田町	中田中	社会科	吉田 淳子 教諭

平成17年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐沼小	佐沼小	6学年	千葉 克憲 教諭
錦織小	錦織小	5学年	佐藤 理英 教諭
石森小	石森小	5学年	鹿野 俊洋 教諭
加賀野小	加賀野小	6学年	鈴木 周 教諭
中津山小	中津山小	5学年	伊藤 伸子 教諭
桜岡小	桜岡小	6学年	鈴木 明美 教諭
東郷小	東郷小	5学年	千葉 裕子 教諭
柳津小	柳津小	6学年	加藤 浩二 教諭
佐沼中	佐沼中	社会科	伊藤 志穂 教諭
豊里中	豊里中	社会科	寺内 篤 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成18年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
新田第一小	6 学 年	秋 葉 徹 教諭
嵯峨立小	5・6 学 年	渡 邊 宏 紀 教諭
上 沼 小	6 学 年	熊 谷 真 理 子 教諭
浅 水 小	6 学 年	鈴 木 勝 彦 教諭
豊 里 小	6 学 年	寺 内 篤 教諭
善王寺小	5・6 学 年	菅 原 満 夫 教諭
西 郷 小	5 学 年	千 葉 洋 子 教諭
横 山 小	5 学 年	佐 藤 秀 俊 教諭
東 和 中	社 会 科	高 橋 和 芳 教諭
南 方 中	社 会 科	菅 原 栄 治 教諭

平成19年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
新田第二小	6 学 年	永 倉 郁 裕 教諭
米 川 小	6 学 年	萩 原 達 也 教諭
鱒 淵 小	3・4 学 年	長 南 忠 男 教諭
宝 江 小	6 学 年	佐 藤 朱 美 教諭
中津山小	6 学 年	米 島 久 智 教諭
米 岡 小	6 学 年	三 浦 弘 義 教諭
石 越 小	6 学 年	高 橋 聡 子 教諭
南 方 小	6 学 年	鈴 木 久 美 教諭
登 米 中	社 会 科	藤 浦 悟 教諭
津 山 中	社 会 科	飯 川 弘 芳 教諭

平成20年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
北 方 小	6 学 年	菅 原 善 彦 教諭
森 小	特別支援	芳 賀 明 洋 教諭
桜 岡 小	6 学 年	千 葉 高 教諭
善王寺小	6 学 年	菅 原 満 夫 教諭
中津山小	6 学 年	村 上 喜 久 美 教諭
米 谷 小	5 学 年	佐 々 木 里 香 教諭
石 森 小	5 学 年	澁 谷 智 樹 教諭
加 賀 野 小	6 学 年	大 友 厚 子 教諭
新 田 中	社 会 科	箱 石 雄 悟 教諭
石 越 中	社 会 科	田 口 勇 介 教諭

平成21年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
佐 沼 小	6 学 年	千 葉 恵 理 子 教諭
森 小	5 学 年	鈴 木 淳 教諭
錦 織 小	6 学 年	芳 賀 明 洋 教諭
浅 水 小	6 学 年	小 野 寺 博 美 教諭
米 岡 小	6 学 年	佐 藤 英 明 教諭
南 方 小	6 学 年	高 橋 敏 子 教諭
柳 津 小	6 学 年	菅 原 満 夫 教諭
佐 沼 中	社 会 科	小 山 紘 明 教諭
米 山 中	社 会 科	守 康 幸 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成22年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
北 方 小	6 学 年	皆 川 寛 教諭
米 谷 小	社会科主任	小 畠 宏 夫 教諭
石 森 小	5 学 年	澁 谷 智 樹 教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 美 紀 子 教諭
中 津 山 小	6 学 年	伊 藤 秀 樹 教諭
石 越 小	6 学 年	幡 江 真 穂 教諭
東 郷 小	6 学 年	鈴 木 有 教諭
横 山 小	6 学 年	及 川 信 太 郎 教諭
豊 里 中	社会科	井 上 鮎 香 教諭
南 方 中	社会科	富 安 隆 文 教諭

平成23年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
新 田 小	6 学 年	箱 石 雄 悟 教諭
登 米 小	6 学 年	伊 藤 敬 教諭
米 川 小	6 学 年	渡 邊 宏 紀 教諭
宝 江 小	6 学 年	進 藤 俊 博 教諭
豊 里 小	6 学 年	小 野 寺 美 和 教諭
米 山 東 小	6 学 年	五 十 嵐 裕 子 教諭
西 郷 小	6 学 年	長 南 忠 男 教諭
柳 津 小	5 学 年	菅 原 満 夫 教諭
中 田 中	社会科	中 津 川 英 樹 教諭
津 山 中	社会科	飯 川 弘 芳 教諭

平成24年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
佐 沼 小	6 学 年	関 根 大 悟 教諭
森 小	6 学 年	後 藤 智 子 教諭
錦 織 小	2 学 年	芳 賀 明 洋 教諭
加 賀 野 小	6 学 年	加 藤 め ぐ み 教諭
浅 水 小	6 学 年	山 田 紀 子 教諭
米 岡 小	6 学 年	佐 藤 正 彦 教諭
南 方 小	4 学 年	大 槻 征 玄 教諭
東 郷 小	6 学 年	後 藤 大 典 教諭
東 和 中	社会科	藤 浦 悟 教諭
石 越 中	社会科	伊 藤 圭 講師

平成25年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
北 方 小	6 学 年	佐 藤 純 教諭
米 谷 小	6 学 年	阿 部 孝 紀 教諭
石 森 小	5 学 年	千 葉 裕 子 教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 勉 教諭
中 津 山 小	5 学 年	菅 原 真 理 教諭
石 越 小	6 学 年	門 田 洋 之 教諭
西 郷 小	6 学 年	佐 藤 眞 紀 教諭
横 山 小	教務主任	鈴 木 明 美 教諭
登 米 中	社会科	遠 藤 孝 講師
米 山 中	社会科	清 水 裕 治 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成26年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
新 田 小	6 学 年	鈴 木 健 太 郎	教諭
登 米 小	6 学 年	伊 藤 敬	教諭
米 川 小	6 学 年	高 橋 寛	教諭
宝 江 小	6 学 年	鈴 木 真 亀 子	教諭
豊 里 小	6 学 年	千 葉 恵 理 子	教諭
米 山 東 小	6 学 年	五 十 嵐 裕 子	教諭
南 方 小	社 会 科	後 藤 善 史	教頭
柳 津 小	教 務 主 任	菅 原 満 夫	教諭
新 田 中	社 会 科	箱 石 雄 悟	教諭
豊 里 中	社 会 科	中 津 川 秀 樹	教諭

平成27年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
佐 沼 小	6 学 年	佐 々 木 理	教諭
錦 織 小	教 務 主 任	岩 渕 安 弘	教諭
加 賀 野 小	6 学 年	小 幡 秀 明	教諭
米 岡 小	6 学 年	佐 藤 智 之	教諭
石 越 小	6 学 年	門 田 洋 之	教諭
東 郷 小	6 学 年	金 野 ゆ か り	教諭
佐 沼 中	社 会 科	及 川 正 生	教諭
中 田 中	社 会 科	白 石 善 郎	教諭

平成28年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
北 方 小	6 学 年	佐 藤 純	教諭
米 川 小	6 学 年	佐 藤 理 英	教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 秀 明	教諭
中 津 山 小	6 学 年	鈴 木 周 一	教諭
南 方 小	6 学 年	佐 藤 ゆ か り	教諭
横 山 小	教 務 主 任	浅 野 克 樹	教諭
東 和 中	社 会 科	林 佳 舗	講師
南 方 中	社 会 科	鈴 木 一 郎	教諭

平成29年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
新 田 小	6 学 年	高 橋 慎	教諭
米 谷 小	6 学 年	阿 部 亘 平	教諭
石 森 小	6 学 年	高 橋 寛	教諭
浅 水 小	6 学 年	佐 藤 眞 紀	教諭
西 郷 小	3 学 年	佐 々 木 芽 衣 子	教諭
柳 津 小	5 学 年	佐 藤 育 子	教諭
石 越 中	社 会 科	箱 石 雄 悟	教諭
津 山 中	社 会 科	白 石 善 郎	教諭

歴代租税教育推進協力者

平成30年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐沼小	小	6 学年	鈴木一郎 教諭
登米小	小	6 学年	後藤 歩 教諭
錦織小	小	6 学年	岩渕安弘 教諭
宝江小	小	6 学年	遠藤寛樹 教諭
豊里小	小	6 学年	皆川玲奈 教諭
米山東小	小	6 学年	千葉美由紀 教諭
登米中	中	社会科	中津川英樹 教諭
米山中	中	社会科	清水裕治 教諭

令和元年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
上沼小	小	6 学年	村上喜久美 教諭
浅水小	小	6 学年	及川史子 教諭
中津山小	小	6 学年	林 智美 教諭
米岡小	小	6 学年	高橋宏典 教諭
石越小	小	6 学年	二階堂奈々 教諭
横山小	小	6 学年	佐藤祐子 教諭
佐沼中	中	社会科	田口直彦 教諭
東和中	中	社会科	伊勢健二 教諭

令和2年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北方小	小	6 学年	三浦幸恵 教諭
米谷小	小	6 学年	川村 愛 教諭
錦織小	小	6 学年	瀬渕文康 教諭
石越小	小	6 学年	石川裕佳子 教諭
西郷小	小	6 学年	高橋久美子 教諭
柳津小	小	6 学年	鈴木 操 教諭
中田中	中	社会科	木村 伸 教諭
豊里中	中	社会科	遠藤 孝 教諭

令和3年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐沼小	小	6 学年	高橋幸恵 教諭
米川小	小	6 学年	三浦咲稀 教諭
加賀野小	小	教務主任	加藤英樹 主幹教諭
豊里小	小	6 学年	三浦幸恵 教諭
南方小	小	6 学年	佐藤光史 教諭
東郷小	小	6 学年	千葉崇峰 教諭
東和中	中	社会科	佐藤 文 教諭
南方中	中	社会科	吉田正一郎 教諭

令和4年3月

発行者 登米市租税教育推進協議会

租税教育用教材・資料・DVD等に関するご意見、ご要望を下記までお寄せください。

佐沼税務署 総務課（事務局） 電話番号：0220-22-2501(代表)